

科目名		運動療法学実習			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
運動学・解剖学を基礎としてその治療への応用を学習する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
理学療法において最も良く行われるストレッチングと筋力トレーニングを中心に、運動学・解剖学的に詳しくその方法を教授する。後半はケース症例に対し、実際の運動療法をグループで考案・発表する。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
基本的な筋の触診、ストレッチングと筋力トレーニングができる。									
回数	講義内容								
1	運動療法の概論								
2	運動療法の概論								
3	ROM-ex 筋力増強練習（股関節）								
4	ROM-ex 筋力増強練習（股関節）								
5	ROM-ex 筋力増強練習（膝関節）								
6	ROM-ex 筋力増強練習（膝関節）								
7	ROM-ex 筋力増強練習（足関節）								
8	ROM-ex 筋力増強練習（足関節）								
9	ROM-ex 筋力増強練習（体幹）								
10	CKCでのエクササイズ								
11	CKCでのエクササイズ								
12	CKCでのエクササイズ								
13	基本動作練習								
14	基本動作練習								
15	基本動作練習								
16	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（肩関節）								
17	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（肘関節）								
18	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（肘関節）								
19	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（手関節）								
20	筋別触診、ストレッチ、筋力増強（手関節）								
21	復習								
22	復習								
23	復習								
	定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
P T ・ O T ビジュアルテキスト運動器の運動療法					小柳磨毅		羊土社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験にて評価する									